



2022.2.26 sat
at Tokyo Metropolitan Theatre
Concert Hall

TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

Subscription Concert 2021-2022

157

Norichika Iimori

Conductor

PROGRAM | プログラム

献呈序曲 / C.ウィリアムズ

Dedicatory Overture / Clifton Williams

[約7分]

アルメニアン・ダンス Part I,II / A.リード

Armenian Dances Part I, II / Alfred Reed

[約30分]

第1楽章 [パート1] I. [Part.I]

第2楽章 [パート2:第1楽章] 風よ、吹け(農民の訴え) II. [Part.2 I.] Hov Arek (The Pesant's Plea)

第3楽章 [パート2:第2楽章] クーマー(結婚の舞曲) III. [Part.2 II.] Khoomar (Wedding Dance)

第4楽章 [パート2:第3楽章] ロリ地方の農民歌 IV. [Part.2 III.] Lorva Horovel (Songs from Lori)

休憩 Intermission [20分]

喜色満海(きしよくうみにみつ) [TKWO委嘱作品・世界初演] / 長生 淳

La mer pleine de joie [Commissioned work by Tokyo Kosei Wind Orchestra, World premiere] / Jun Nagao

[約12分]

交響曲 第1番「アーケエンジェルズ」 / F.チェザリーニ

Symphony No. 1 – Archangels – / Franco Cesarini

[約35分]

第1楽章 《ガブリエル～光のメッセンジャー》 I. Gabriel, the Messenger of Light

第2楽章 《ラファエル～魂をみちびくもの》 II. Raphael, the Guide of Souls

第3楽章 《ミカエル～神の御前のプリンス》 III. Michael, the Prince of the Heavenly Host

第4楽章 《ウリエル～時を守るもの》 IV. Uriel, the Time Keeper

！ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合がございます。および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承下さい。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますので配慮下さい。

東京佼成ウインドオーケストラでは、政府・各自治体およびホールの方針に基づき、最大限の感染予防と拡大防止のための対策を実施した上で、本公演を開催いたします。詳細につきましては、当回オフィシャルサイト掲載の《【重要】感染症予防対策についての取り組みとお願い》をご覧ください。

本公演に関するアンケートへご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール

飯森 範親 (首席客演指揮者)

Norichika Iimori

Conductor



©山岸伸

桐朋学園大学指揮科にてジャン・フルネ、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。卒業後、ベルリン、ミュンヘンに留学。バイエルン国立歌劇場ではヴォルフガング・サヴァリッシュ氏のもと研鑽を積む。94年に東京交響楽団の専属指揮者に就任。以来、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。96年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは正指揮者として密接な関係を続け、現在は特別客演指揮者。03年、NHK交響楽団定期でのマラー：交響曲第1番は、日本人指揮者として唯一の年間ベスト10コンサートに選出された。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハ響、モスクワ放響、北西ドイツ・フィル、デュッセルドルフ響、ドルトムント・フィル、バーゼル響、チェコ国立ブルノ・フィル、チェコ国立モラヴィア・フィル、ホノルル響、アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルなど世界的なオーケストラに客演を重ね、01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に着任。06年の日本ツアーを成功させるとともに、ベートーヴェン交響曲全集をリリース。同オケとは2017年5月にはミュンヘンのヘルクスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。また、同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕定期公演を指揮し成功を収めた。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。

07年から山形交響楽団の音楽監督に就任。次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げている。08年にはアカデミー賞映画「おくりびと」にも出演するなど、「飯森 & 山響」コンビのエネルギッシュな活動はいま大きな注目を集め、2011年には山形県より齋藤茂吉文化賞を受賞。2012年 東京交響楽団との《レスピーギ：交響詩「ローマの松」「ローマの噴水」「ローマの祭り」》はレコード芸術誌特選盤、2015年日本センチュリー交響楽団と収録を行った「マラー：大地の歌」「ハイドン交響曲集vol.1」はレコード芸術誌特選盤に選出。2016年には世界的に数少ない日本初の「モーツァルト交響曲全集」を山形交響楽団と収録し第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞。また、日本初演となった東京交響楽団定期公演との「ポポー作曲交響曲第1番(ライブレコーディング)」は、オクタヴィアレコードよりCD発売され、レコード芸術誌、朝日新聞 for your Collection 両特選盤に選出された。

東京交響楽団特別客演指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドヴァイザー(22年4月よりパシフィック・フィルハーモニア東京に改称、音楽監督に就任)。

2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。 オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

PROGRAM NOTES | 曲目解説 — 富樫鉄火(音楽ライター)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

C.ウィリアムズ作曲 献呈序曲

1962年、米インディアナ州にあるエヴァンズヴィル大学内に音楽棟が落成したのを記念して委嘱・作曲され、翌1963年に同大のバンドによって初演された。

この「1963年」とは、2020年に創立60年を迎えたTKWOが、第1回の定期演奏会を開催した年である(1963年3月10日、杉並公会堂にて。創立は1960年)。

曲は、ウィリアムズお得意の、金管群を中心とするファンファーレのリピートではじまる。やがてエヴァンズヴィル大学の学生歌がコーラルとなってゆったりと流れる。後半はワーグ風となり、学生歌と冒頭ファンファーレが交錯して華やかに曲を終える。

新型コロナ禍で中止延期となっていた、マエストロ飯森範親の首席客演指揮者就任を寿ぐような、祝典序曲の名作である。

クリフトン・ウィリアムズ(1923~1976)は、もとはオーケストラのホルン奏者。作曲は、主にイーストマン音楽院でハワード・ハンソンに学んだ。吹奏楽といえば、まだ戦時中の軍楽マーチの印象が残っていた1950年代に、斬新で知的なサウンドで人気を博し、アメリカ音楽界に刺激を与えた。

優秀な吹奏楽曲におくられるオストワルド賞の第1回を《ファンファーレとアレグロ》で、第2回を《交響組曲》で、2回連続で受賞している。後年はテキサス大学やマイアミ大学で教鞭をとり、マクベスやチャンスといった人気作曲家を育てた。近年、未出版の楽曲が発掘され、再評価が高まっている。

A.リード作曲

アルメニアン・ダンス〈Part I,II〉

誕生の経緯

吹奏楽史に大きな足跡を残し、TKWOとも縁の深かった作曲家・指揮者、アルフレッド・リード(1921~2005)の代表作。アルメニア系の名バンド指導者、ハリー・ベギアン(1921~2010)の委嘱によって書かれた。パート1(第1楽章)が1973年1月に、パート2(第2~4楽章)が1976年4月に、それぞれ同氏が指揮するイリノイ大学バンドによって初演されている。

諸事情で、第1楽章と第2~4楽章で、別々の出版社から刊行されたので、「パート1」「パート2」の2部に分かれているかのように思われているが、当初から4楽章構成の交響曲的な組曲として計画されており、本日のように全4楽章を連続して演奏するのが本来の姿である。

曲のモチーフは、トルコに隣接し、アジアとヨーロッパの中継点でもある「アルメニア共和国」の民謡や舞曲。アルメニアは紀元前からの歴史がある、古代王国が発祥。内陸地ゆえ、むかしから周辺諸国に翻弄されてきたが、世界で初めて、キリスト教を国教に定めた国である(西暦301年)。よってこの国の教会や聖歌には、原始キリスト教本来の姿が残っているといわれている。1920年代にソ連の構成国となったが、1991年に独立を宣言、「アルメニア共和国」となった。

本曲では、近代アルメニア音楽の始祖コミタス(1869~1935)が収集・作編曲した旋律が使用されている。

このコミタスとは、アルメニアで初めて西洋音楽教育を受けた僧侶・音楽家・合唱指導者。彼が組織した合唱団は、ヨーロッパ各地で大人気となった。当人もたいへんな美声と声量の持ち主だった。

ところが、20世紀初頭、オスマン帝国(トルコ)によるアルメニア人大虐殺の混乱で逮捕され、心身を病んで母国を脱出、パリで客死した悲劇の音楽家である(この時期、大量のアルメニア人が、虐殺を逃れて世界各地へ脱出した。大虐殺の犠牲者数は、最大150万人と見られているが、トルコ政府は、計画的虐殺の事実を否定している。トルコのEU加盟がいまでも認められない理由のひとつが、これである)。

本曲は、大虐殺の悲劇を描いたものではないが、委嘱者ベギアンの両親はアルメニアからアメリカにわたった移民である。よって祖国への関心を促したいとの思いがあったことは十分考えられる。

作曲された時期は、リード黄金時代の幕開けで、直前には《ハムレットへの音楽》(1971)や、《アレヤ! ラウダムステ》(1973)が、またパート1と2の間には《オセロ》の原曲(金管アンサンブルの劇音楽、1974)など、綺羅星のごとき名曲が並んでいる。

吹奏楽表現を十二分に吸収したリードが、その才能と技術のすべてを注ぎ込んで完成させた、吹奏楽オリジナル曲の極北と呼ぶべき傑作中の傑作である。

楽曲について

第1楽章 [パート1]

アルメニア民謡《あんずの木》《ヤマウズラの歌》《ホイ、僕のナザン》《アラギヤ山》《ゆけゆけ》の5曲によって構成された、一種の狂詩曲。このうち、《ヤマウズラの歌》はコミタスの創作歌である。

壮大な幕開け《あんずの木》は、隣国トルコとの国境にそびえるアララト山(5,137m)を描写しているかのよう(旧約聖書で、ノアの方舟が漂着したとされている山)。「あんず」はアルメニアを象徴する果物。同国の民族楽器ドゥドゥークも、あんずの木で作られている。

つづいてヤマウズラがヨチヨチと歩きまわる様子が描写され、舞曲を経て、アラギヤ山(4,090m)を讃える雄大な曲想となる(コミタス歌唱の録音が残っている)。ラストはスピーディーな疾走。途中に登場する同音スタカート連続は、民衆の笑い声を描写した部分である。クライマックスは、数多いリード作品の中でも群れを抜く見事なスコアリングだ。

この楽章だけがほかに比べて極端に長いので、独立して演奏されることが多い。

第2楽章〈風よ、吹け〉(農民の訴え) [パート2:第1楽章]

若者が山に向かって「風よ、吹け」と祈りを捧げ、貧しい暮らしからの解放を願う。主要メロディをイングリッシュホーンが奏でる、叙情的にして感動的な楽章。なお以下の原典も、すべてコミタスが蒐集・編曲した民謡である。

第3楽章〈クーマー〉(結婚の舞曲) [パート2:第2楽章]

「クーマー」とはアルメニア女性の名前。田舎での素朴な結婚式の祝いの光景が描写される。原曲は、コミタスが採譜してソプラノ独唱+混声合唱用に編曲したもの。

第4楽章〈ロリ地方の農民歌〉 [パート2:第3楽章]

第1楽章に準ずる長大な楽章。ロリ地方はアルメニア最北部、ジョージア(旧名グルジア)に接した地域。ここで働く農民たちの労働歌がもとになっている。後半で何度となく登場する、跳ねるようなリズムの部分は、農民たちのかけ声を描写している。暗く悲痛な叫びと、時折差し込む明るさが見事に交錯し、やがて第1楽章同様、アップテンポで華やかに幕を閉じる。

F.チェザリーニ作曲

交響曲 第1番《アークエンジェルス》

「作曲」とは、委嘱元、つまりスポンサーがあってはじめて成立することが多いものだが、本曲はまったくちがう。チェザリーニ本人が、自分の意志で、密かに書き進めていた“自主作品”である（構想は、1990年代からあったらしい）。

それだけに、2016年2月、スペインのビルバオ市吹奏楽団によって、チェザリーニ本人の指揮で初演された際には、たいへんな話題となった。なにしろ、全4楽章、40分近い交響曲が、突如、吹奏楽界に登場したのだ（日本初演は、同年6月、鈴木孝佳指揮のタッド・ウインドシンフォニー）。

西洋で親しまれている大天使（アークエンジェルス）がモチーフとなっており、キリスト教における3大天使＋ウリエル（もしくはユダヤ教における4大天使）が取り上げられている。

第1楽章《ガブリエル～光のメッセンジャー》

よく「受胎告知」を描いた絵画で、聖母マリアの前で跪き、イエスを身ごもったことを知らせている天使が描かれている。あれが、ガブリエルである。シンボルは「百合の花」。神のメッセージを伝えるのが仕事だ。絵画では優しい女性風に描かれるが、戦士でもあり、最後の審判で、ラッパを吹いて死者を蘇生させるのが、この天使である。冒頭は、ティンパニと全奏の激しい交錯で開幕する。まず、ガブリエルの戦士としての性格が描かれる。その後、穏やかな曲想となり、神のメッセンジャーとしての優しさが描かれる。この2面性が交互に登場し、壮大なクライマックスを形成する。

第2楽章《ラファエル～魂をみちびくもの》

ラファエルは、病人の守護天使。「癒しを司る天使」としても知られる。魚の内臓から処方した秘薬で盲人を治したこともある。シンボルは「魚を持つ姿」。

曲は、そんなラファエルの性格を美しく描く。敬虔な曲想がつづき、次第に高まったあと、静かに終わる。

第3楽章《ミカエル～神の御前のプリンス》

カトリックでは「大天使ミカエル」と呼ばれ、「長」のイメージがある。天上の軍団のリーダーであり、現代では、警官・兵士・消防士などの守護天使である。シンボルでは「右手に剣、左手に魂を測る秤」を持っていることが多い。戦闘リーダーだけあり、曲も激しい展開がつづく。現代的な響きのなか、時折、古風で落ち着いた曲想が交錯する。これがチェザリーニの個性のひとつでもある。

余談だが、大天使ミカエルは、日本の作曲家、藤田玄播（1937～2013）も《天使ミカエルの嘆き》（1978）で取り上げている。聴き比べてみるのも一興だろう。

第4楽章《ウリエル～時を守るもの》

ウリエルは、キリスト教の聖書正典では、大天使には含まれない。だがユダヤ教では上述3人とともに「4大天使」とされており、重要な存在である。シンボルでは「書物と炎の剣」を持っていることが多く、作家や詩人の守護天使といわれている。同時に星の運行（時間）の守り役でもある。

曲はゆっくりとはじまり、様々な楽器を従えるように加えてゆき、やがて壮大なクライマックスへ登ってゆく。おそらく吹奏楽によって表現された、もっとも巨大なスケールと思われる壮大な響きが展開する。

フランコ・チェザリーニ（1961～）は、スイス南部、ベリンツォーナの出身（ここは地図上はスイスだが、イタリア語文化圏）。その後、ルガーノやバーゼル、ミラノなどでフルートや指揮、作曲などを学んだ。日本では、1990年代後半から《ピザンティンのモザイク画》《アルプスの詩》、そして本曲などで知られるようになった。《トム・ソーヤー組曲》《ハックルベリ・フィン組曲》《闇を這うもの》など、文学を題材にした曲も多い。大の親日家で、いまや、フィリップ・スパークや、ヨハン・デ＝メイ、ヤン・ヴァン＝デル＝ローストなどとならぶ、ヨーロッパの大人気作曲家である。

なお、チェザリーニは、2018年12月に、歌川広重の浮世絵シリーズ「名所江戸百景」を題材にした、交響曲第2番《江戸の情景》を発表している。

喜色満海（きしょくうみにみつ） [TKWO委嘱作品・世界初演]

作曲：長生 淳

この委嘱のお話をいただいた時、マエストロからは「海をテーマにしてほしい」というご要望だとわかりました。そこで、多様性を内包している最たるものとしての海というところから、いくつもの楽想・様式で織り上げる曲、楽器・楽器群の対比や対話が積み重なって大きな全体を形づくる曲というのをイメージして取り掛かりました。その後「海は南の海」という追加情報(?)をいただいても大筋にかわりはなかったのですが、昨年10月の運営に関するお知らせで大きく方針を変えました。もともとの楽想も残ってはいますけれども、一度書き留めておきながら却下したものが自分史上最多というくらいに。

その変更の中身ですが、ひとつの情景に焦点を絞ること、それに伴い趣向から情感へ比重をうつすこと、です。思わず息が深くなり生きる力をも授けられる、美しさに満ち溢れたひとときの海。その景色がずっとかわらずにあることを強く願いたくなる、そんな海。多様性の面影はあって様々な顔を見せつつ、そこを主眼とせず、「推し」の瞬間をきわだたせようと、耳に残るうたであらわそうとつとめました。もちろんそれはそんなたやすいことではないのですが、ここぞというところで、きっと楽団の方々がいよ表情で演奏してくださるだろうと、ただひたすらそれを思い浮かべつつ書きました。もし目論見通り、聴いたみなさまの耳に残るところがありましたら、そのときの演奏者の方々の表情一音の表情・ステージ全体の表情ふくめ一も、ともに心に留めていただければ、と願っております。

長生 淳 Jun Nagao, Composer

1964年3月1日茨城県生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程修了。作曲を永富正之・野田暉行両氏に師事。2000年度武満徹作曲賞、(財)日本交響楽振興財団第24回作曲賞、第16回日本管打・吹奏楽アカデミー賞（作編曲部門）受賞。全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位入賞。第4回クドヴァン国際吹奏楽作曲コンクール第2位受賞。21世紀の吹奏楽「響宴」会員。おもな作品には《交響曲》5曲《レミニサンス》《英雄の時代》《四季連禱》4部作《久堅の幹》《紺碧の波濤》《Prime-Climb-Drive》《A CE QU'IL Y AVAIT》など。



〈敬称略〉

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年(昭和35年)5月、立正佼成会附属の「佼成吹奏楽団」として発足、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称した日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人々が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、テレビ・ラジオに出演し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。2020年に楽団創立60周年を迎え、同年1月より大井剛史が正指揮者、トーマス・ザンデルリンクが特別客演指揮者、飯森範親が首席客演指揮者、藤野浩一がポップス・ディレクターに就任。2022年4月より立正佼成会から独立し、一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラとして活動。

【退団のご挨拶】 Clarinet 小倉 清澄

入団から37年経ち3月末日で退団することになりました。入団して諸先輩方の力強い音に驚き、しばらくはバワフルさと吹奏楽ならではの繊細さを併せ持つ音創りに明け暮れました。tuttiをより魅力的に響かせ、音楽の方向性を表現するのに有効なヴィブラートはフェネル氏のリクエストから始まりました。楽譜を見た瞬間は演奏不可能と思える箇所も試行錯誤しながら克服していくこともこの楽団から教わりました。楽団のスタイルは近年ではこれまでの参加型の演奏から独自の鑑賞を目的とした演奏へと変化を遂げてきたように感じています。数十人の奏者が意思を持って表現する音は同じ空間で聴くことが望ましいですね。次の定期演奏会は客席でその感動を味わえると思うとワクワクしています。



MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル
 正指揮者 …… 大井剛史
 特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク
 首席客演指揮者 …… 飯森範親
 ポップス・ディレクター …… 藤野浩一

指揮 …… 飯森範親
 演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太(Flute)	Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、 本間千也*、河原史弥、 川村大、久保義一
Flutes …… 前田綾子、白石法久	Horns …… 上原宏、堀風翔*、小助川大河、 葛西亮、古谷幸子
Oboes …… 宮村和宏*、桜田昌子	Tenor Trombones …… 今村岳志*、石村源海、 上田智美、長谷川貴大
English Horn …… 飯森理信	Bass Trombone …… 佐藤敬一郎
Bassoons …… 福井弘康、吉田早織	Euphoniums …… 岩黒綾乃、齋藤充
Contra Bassoon …… 君塚広明	Tubas …… 近藤陽一、若林毅
Clarinet in E♭ …… 松生知子	Contrabass …… 前田芳彰
Clarinet in B♭ …… 小倉清澄、大浦綾子、林裕子、 太田友香*、亀居優斗、徳武敦、 野田祐太郎(Contra Alto Clarinet)、 福井萌、吉本拓	Timpani …… 坂本雄希*
Alto Clarinet …… 瀧本千晶	Percussion …… 秋田孝訓、渡辺壮、和田光世、 木下卓巳、久米彩音、 市東章代、藤井里佳
Bass Clarinet …… 有馬理絵*	Harp …… 高野麗音
Contra Bass Clarinet …… 原浩介	Organ …… 新山恵理
Alto Saxophones …… 田中靖人(Soprano Saxophone)*、 林田祐和	
Tenor Saxophone …… 松井宏幸	
Baritone Saxophone …… 栃尾克樹	
Bass Saxophone …… 完戸吉由希	

名誉楽団長 …… 庭野光祥	マネージャー …… 遠藤敏、井小萩浩之
楽団長 …… 林總太郎	ステージマネージャー …… 今井慎吾、勝川本久
佼成文化協会長 …… 菅野泰正	ライブラリアン …… 羽田紀子
コンサートマスター …… 田中靖人	制作 …… 久保慶恵
副コンサートマスター …… 宮村和宏	パーソナルマネージャー …… 富田真里那
インスペクター …… 堀風翔	総務 …… 牧野正純、佐原由起、勝川本久
企画委員 …… 原浩介	広報 …… 遠藤敏、荻沼美帆、今村俊博
	チケットサービス …… 荻沼美帆
	庶務 …… 出塚和良、小野寺龍一、石川清
	経理 …… 水本孝枝

賛助会員

音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。

当楽団の音楽を通しての心豊かな社会づくりに貢献する活動をご理解いただき、多くの方々のご入会をお願い申し上げます。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間・会費納入翌月より1年間

お問い合わせ:東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2022年2月1日現在)

法人会員

維持会員 エーユーツーリスト((株)アコード)

賛助会員	遠藤製作所 遠藤悦治	海鮮食堂余市の仲間達
	株式会社CAFUAレコード	鈴木住地(有)
	株式会社全音楽譜出版社	立花産業(株)
	株式会社プリマ楽器	株式会社HANDYMAN 代表取締役 久保井恵子
	株式会社日乃本錠前	柳澤管楽器株式会社

個人会員

特別会員	アイちゃん	天野 正道
	岡部 克子	加賀美 猛
	関根 紳雄	田中 淳子
	長瀬 善則	林 正作
	ヘルベルト・フォン・ホリヤン	古沢 秀明
	ミーゴ	三浦 徹

他5名

維持会員：101名 / 賛助会員：81名

SUPPORTERS CLUB
東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)はあなたのウインドオーケストラです!!

TKWOをもっと身近に感じて応援する仲間になりませんか?

サポーターズクラブに入会して、もっとTKWOの音楽をより多くの皆さんに届けられるように活動を支援してください!



詳細はこちら

PR Supporters PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2022年1月31日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン(株) 広島本社
ブレーン(株) 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザクラリネットショップ
新潮講座・神楽坂教室
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
(株)ヤマハミュージックリテイリング 横浜店
宮地楽器 小倉店 ANNEX
(株)池袋音楽学院
(株)CAFUALレコード

吹奏楽webマガジン「Band Power」
吹奏楽専門ショップ「Band Power」
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルーツ専門店テオバルト
アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店
フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
葡萄房 by THE CAMEL
やしろ食堂
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大拵
海鮮食堂余市

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか?
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力頂ける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

TKWO オリジナルグッズ好評販売中!

Original goods

新商品登場!

ほかにも多くの商品をご用意しております。

ご購入・詳細はこちら



右肩部分

新オリジナルTシャツ

各1着 2,500円(税込)

会場限定/各1着 2,300円(税込)



オリジナルブラボータオル

1枚 1,700円(税込)

会場限定/1枚 1,500円(税込)

◎サイズ:34×86cm ◎素材:綿100% 今治産

国内で生産された今治産タオルに「BRAVO」がプリントされています。

好評販売中!



東京俊成ウインドオーケストラ60年史

世界に誇るスーパーアンサンブル集団のすべてが凝縮
いま初めて紐解かれる、秘められた驚愕のエピソード

1960年、たった「15名」で始まった吹奏楽団が、
いかにして世界最高の響きを奏でようになったのか。

定価:3,080円 (税込/本体2,800円+税)
四六判(本文132mm×191mm)/丸背厚表紙/384頁/ISBN 978-4-10-910188-2

世界中の音楽愛好家へ捧ぐ完全永久保存版!



結成3年目、第1回定期演奏会の模様。

1963(昭和38)年3月10日、杉並公会堂にて。指揮は、創設者のひとり、河野貢造・副楽長。

この日は、ロッシーニ《セビリアの理髮師》序曲、チャイコフスキー《スラブ行進曲》などが演奏された。

全国有名書店、および東京俊成ウインドオーケストラ事務局でお求めいただけます。

詳細はオフィシャルサイトをご確認ください。▲



東京俊成ウインドオーケストラ

特別演奏会

2022

3.22 tue

開演19:00 (開場18:00)

東京芸術劇場 コンサートホール
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL:03-5391-2111(代表)

program

- 1 「法華経からの三つの啓示」より第3楽章/A.リード
- 2 アルメニアン・ダンス Part1/A.リード
- 3 「BIRDS アルト・サクソフォンとバンドの為の協奏曲」より第2楽章「シーガル」/真島俊夫(ソリスト:須川展也)
- 4 吹奏楽のための「深層の祭」/三橋 晃
- 5 アルヴァマー序曲/J.バーンス
- 6 Lassus Trombone
H.フォルモア/藤野浩一編 (ソリスト:今村岳志、石村源海、佐藤敬一朗)
- 7 Siciliano for Solo Soprano Saxphone and Wind Orchestra/J.S.バッハ/藤野浩一編 (ソリスト:田中晴人)
- 8 Mr.Toad's Wild Ride/A.G.トーマス/藤野浩一編
- 9 『三つのジャポニスム』より『鶴が舞う』/真島俊夫
- 10 「吹奏楽のための交響曲第3番」より第3楽章/保科 洋

大井剛史
(正指揮者)

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

藤野浩一
(ソリスト:サクソフォン)

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

飯森範親
(首席客演指揮者)

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

汐澤安彦

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

須川展也
(ソリスト:サクソフォン)

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

山下一史

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

一般

学生
(高校生以下)

¥4,000 ¥2,000

チケットのお申し込み

▼東京俊成ウインドオーケストラ チケットサービス



お電話
0120-692-556
(9:30~16:30 / 土・日・祝を除く)



FAX
03-5341-1255



メール
ticket@tkwo.jp

プレイガイド/チケットぴあ、ローソンチケット、e+ (イープラス)、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

▼WEBチケットサービス

いつでも予約可能!
座席指定 クレジット決済
コンビニでの支払・発券 が可能!
※定期メンテナンス:毎日3:00~4:00



※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。※新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、配席変更となる場合がございます。

主催:俊成文化協会 東京俊成ウインドオーケストラ
後援:一般社団法人日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、公益財団法人日本音楽教育文化振興会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人日本吹奏楽普及協会、日本コロムビア株式会社、株式会社テレビマンユニオン

東京俊成ウインドオーケストラ事務局 TEL 03-5341-1155 <https://www.tkwo.jp/>



第158回 2022年4月25日(月) 19:00開演(18:15開場)

指揮:大井剛史(正指揮者)

- 希望の彼方へ/P.スパーク
- Sparkling for Wind Orchestra/冷水乃栄流
- 交響曲 第4番/A.リード
- 交響曲「ワインダーク・シー」/J.マッキー

料金(税込):全席指定 ¥5,000/U25割引(25歳以下)¥2,500

好評発売中



©K.Miura

第159回 2022年9月30日(金) 19:00開演(18:15開場)

指揮:飯森範親(首席客演指揮者)

- 予定曲目
- 青い水平線(ブルー・ホライズン)/F.チェザリーニ
 - ダンス・ムーブメント/P.スパーク
 - 交響曲第3番/J.バーンズ

料金(税込):全席指定 ¥5,000/U25割引(25歳以下)¥2,500

1回券発売日:調整中



©山岸伸

第160回 2023年1月28日(土) 14:00開演(13:15開場)

指揮:ユベール・スダーン

- 予定曲目
- 13管楽器のためのセレナーデOp.7/R.シュトラウス
 - アルプスの詩/F.チェザリーニ
 - ティル・オイレンシュビエゲルの愉快ないたずら/R.シュトラウス(M.ハインズレー編)
 - 歌劇「ばらの騎士」組曲/R.シュトラウス(酒井格編)

料金(税込):全席指定 ¥6,000/U25割引(25歳以下)¥3,000

1回券 発売日:調整中



©N. Ikega

3回
セット券

定期演奏会(全3回:第158回・第159回・第160回)
を同じお席でお得にお聴きいただけます。

全席指定: 13,000円
U25割引: 6,000円

好評発売中

主催

佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ

後援

一般社団法人全日本吹奏楽連盟

東京都吹奏楽連盟

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

一般社団法人日本吹奏楽普及協会

日本コロムビア株式会社

株式会社テレビマンユニオン

公益財団法人としま未来文化財団

<https://www.tkwo.jp/>

